

# 壮快 自転車ガール

おしゃれに登山を楽しむ「山ガール」に続き、「自転車ガール」が徐々に増えている。スポーツタイプの自転車に乗ってヘルメットをかぶり、本格的にサイクリングを楽しむ女性たち。長距離向けの「ロードバイク」に女性仕様が登場したことがきっかけで人気に火が付き、健康やフィットネス効果、自然に触れてリフレッシュする楽しみなどを求める愛好者が目立っている。

(市村信子)

## 女性仕様 人気を後押し

## 寄り道ツアー、本出版も

「なぜかわからないけど、ヘサイクリング。苦しい坂道が出てきて驚いたんで、緑豊かな空気がす」。札幌市豊平区の自営業青井香璃さん(39)は昨春、知人の勧めでロードバイクに乗り始めた。1カ月ほどギアチェンジなどを練習した後、南区の滝野周辺

「なせかわからないけど、道に登り、健康やフィットネス効果、自然と涙がにじんだ。何事も「とことんやりた性格。70キロ、100キロと走行距離を伸ばし、

昨秋にはハワイの「ポノルル・センチュリーライド」(160キロ)に出場した。札幌一帯広間に相当する距離に合わせたロードバイク

「最後のほうに直直に走った。海岸線を走ったけど、海沿い走るのは心地よかった」。ポノルルの目標を達成した今、これまでなら他の趣味に移るところだが、「自転車はきつと続ける。心身に良い効果があるのがわかるから」と話す。

女性のスポーツ自転車愛は年々伸びている(同社)



いい景色と、おいしいものを求めて。「花サイクルクラブ」の女性対象ツアーで道庁赤れんが庁舎前を出発する参加者たち

好者が増え始めたのは、プロという。札幌市内の自転車店によると、札幌でもスポーツ自転車を購入する女性は増加傾向。西区の自転車店では、店主権のツアー参加者に占める女性の割合が「男性を上回ることが多い」という。



④追い風の時のロードバイクは「『風になる』感覚」と語る青井さん⑤6月末発行の「さっぽろ自転車ガール」



札幌と近郊のサイクリングコースを紹介している